

2016年1月17日 年間第2主日

第2朗読

コリントの信徒への手紙一 12章4～11節

賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。務めにはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ主です。働きにはいろいろありますが、すべての場合にすべてのことをなさるのと同じ神です。

一人一人に“霊”の働きが現れるのは、全体の益となるためです。

ある人には“霊”によって知恵の言葉、

ある人には同じ“霊”によって知識の言葉が与えられ、

ある人にはその同じ“霊”によって信仰、

ある人にはこの唯一の“霊”によって病気をいやす力、

ある人には奇跡を行う力、

ある人には預言する力、

ある人には霊を見分ける力、

ある人には種々の異言を語る力、

ある人には異言を解釈する力が与えられています。

これらすべてのことは、同じ唯一の“霊”の働きであって、

“霊”は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださるのです。